

第2回 精神保健医療福祉データ行政活用研修

1. 目的

精神保健医療福祉分野における公的データを活用して、都道府県、二次医療圏、市町村単位での根拠を持った現状把握とそのモニタリングを行うためのデータの見方について習得することを目的とします。

本研修は「医療計画」「障害福祉計画」の策定、また「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を推進するための研修という位置づけです。

2. 対象者

各都道府県、政令指定都市、市区町村の精神保健福祉主管課担当者、医療政策主管課担当者

3. 研修期間

令和6年11月上旬開催予定（1日間）

※詳細は5月以降に当センターホームページにてお知らせいたします。

4. 研修主題

医療計画（精神疾患）や障害福祉計画等の現状と課題、地域課題について理解したうえで、精神保健医療福祉関係の公的データ（患者調査、NDBデータ、630調査等）の見方、またそのマップデータベースである地域精神保健医療福祉資源分析データベース（ReMHRAD）の見方と使い方等を学び、各自治体の実態把握とモニタリングをするためのスキルを習得する。

5. 課程内容（※検討中）

	(時間)
精神保健医療福祉に関する動向（医療計画、障害福祉計画等）	(1.0)
ロジックモデルとその活用	(1.0)
NDBデータとその活用について	(1.0)
630調査とその活用について	(1.0)
ReMHRADとその活用について	(1.0)
質疑応答	(0.5)
合計	5.5時間

6. 定員 100名

7. 申込方法・期間 WEB ※日程調整中

8. 受講料 4,000円

9. 会場 オンライン開催